

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備率（国直轄区間）</p>  <p>整備率 ○%</p> <p>（令和○年度末時点）</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>○○市町村</p> <p>（令和○年○月時点）</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>○○施設</p> <p>（令和○年○月時点）</p>	<p>集計中</p> <p>治山対策・森林整備 ○○箇所 （令和○年○月時点） 砂防事業による保全箇所 ○○施設 （令和○年○月時点）</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>○市町村</p> <p>（令和○年○月時点）</p>	<p>水害リスク情報の提供</p>  <p>洪水浸水想定 ○河川 （令和○年○月時点） 内水浸水想定 ○団体 （令和○年○月時点）</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 ○施設 （令和○年○月時点） 個別避難計画 ○市町村 （令和○年○月時点）</p>
--	---	--	--	---	--	--

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

『河道掘削・堤防整備事業』



（掘削区間）

堤防整備

河道掘削

相模川

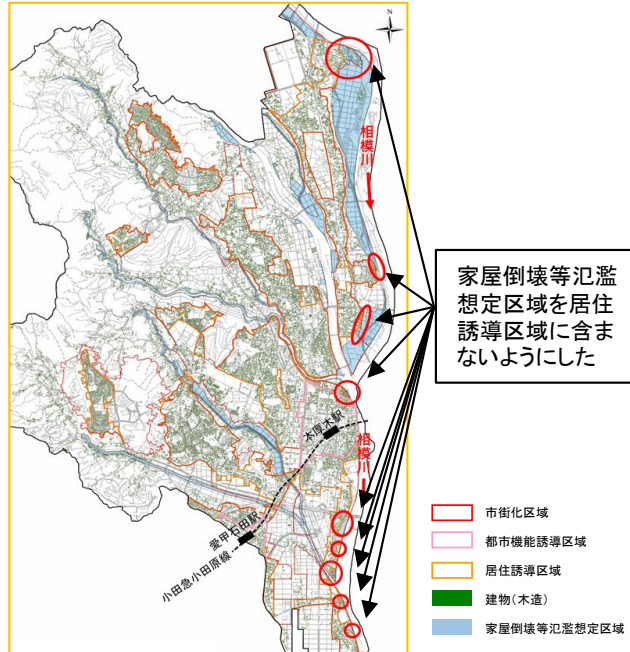
■取組の概要

【神奈川県】

- ・目的：洪水による浸水被害の防止又は軽減
- ・規模、構造：L＝約600m（堤防天端幅 W＝7.0m）
- ・実施場所：海老名市河原口
- ・取組実施により期待すること：事業区間及び上流域における水位低減効果
- ・今後の展開：事業区間において事前調査（埋蔵文化財調査）を実施し、調査が完了した箇所から順次堤防整備及び河道掘削に着手していく

被害対象を減少させるための対策

『家屋倒壊等氾濫想定区域を居住誘導区域に含まない』



相模川

家屋倒壊等氾濫想定区域を居住誘導区域に含まないようにした

- 市街化区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域
- 建物（木造）
- 家屋倒壊等氾濫想定区域

■取組の概要


【厚木市】

家屋倒壊等氾濫想定区域内には木造住宅が多く、家屋に対する被害が想定されるため、居住誘導区域に含まないようにした


被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

『要配慮者利用施設への対応等を考慮した避難計画の作成』

・前期講習会（座学）




避難確保計画作成背景を解説




気象台による防災情報解説

・後期講習会（ワールドカフェ）



ワールドカフェの開催状況



各テーブルの意見を発表・共有

※ 具体的な対策内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。

■取組の概要

【寒川町】

- ・浸水想定区域内にある要配慮者利用施設の管理者等を対象として、避難確保計画の「作成ポイントがわかる講習会」を開催し、計画の作成から町への提出終了までを支援。
- ・令和元年度の講習会は、前期講習会（座学）と後期講習会（ワールドカフェ）の2回を実施。
- ・前期講習会では、地域の水害特性・防災情報の入手方法、計画作成時のポイント等を説明。
- ・後期講習会（ワールドカフェ）は、避難確保計画の内容の充実を図ることを目的として、他の施設の参加者と活発な意見交換を行い、計画作成上の問題点や課題、良い取組（知恵）等を共有。